

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011長第71号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年4月26日 08時35分ごろ	
発生場所	長崎県平戸市平戸島 ^{ほうきゅうら} 宝亀浦 平戸市所在の平戸川 ^{かわち} 内港沖防波堤灯台から真方位205° 3,400m付近 (概位 北緯33° 17.9' 東経129° 30.3')	
事故等調査の経過	平成23年7月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 砂利運搬船 ^{ふじいわ} 富士岩丸、744トン 船舶番号、船舶所有者等 133267、御前崎海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船底外板凹損、ビルジキール及びプロペラ翼曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、管理土を満載し、船首約3.45m、船尾約5.20mの喫水で宝亀浦において着岸作業中、平成23年4月26日08時35分ごろ船底が浅所に接触した。 船長は、本事故発生場所付近への寄港は初めてであったが、岸壁付近の水深を確認していなかった。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 4 海象：潮汐 ほぼ低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、宝亀浦において、低潮時に管理土を満載して着岸作業中、船長が岸壁付近の水深を確認していなかったことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、宝亀浦において、低潮時に管理土を満載して着岸作業中、船長が岸壁付近の水深を確認していなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に水深及び潮汐を調査し、余裕水深を十分に確保すること。	